

平成 26 年 8 月 8 日

日本証券業協会 御中

一般社団法人全国銀行協会

「国債取引の決済期間の短縮（T+1）化に向けたグランドデザイン（暫定版）」
に対する意見等の提出について

平成 26 年 7 月 17 日（木）付で意見募集のあった標記の件に対する意見等を
別紙のとおり取りまとめ、提出いたしますので、何卒ご高配賜りますようお願い
申し上げます。

以 上

「国債取引の決済期間の短縮(T+1)化に向けたグランドデザイン(暫定版)」に対する意見

	該当項目(頁数)	意見	理由等
1	全般	<p>国債の決済期間短縮化は国際競争力の維持・強化のためにも必要であり、国債の有効活用を後押し、グローバルな国債の利用に資すると考えられる。今後、国債の決済期間短縮化に向けた事務・システム体制の再構築が必要になることから、T+1化に向けては前広な情報の展開等をお願いしたい。</p>	<p>T+1化の円滑な導入を行うために情報共有化をお願いしたい。</p>
2	取引形態の一元化 (32頁)	<p>日本では、現担と現先の取引形態が並列しており、金融機関によっては両方の取引形態を利用し、事務的にも管理上、負荷がかかっている。また、グローバルには現先取引が主流であることから、日本がグローバルな市場を目指すのであれば、新現先への一本化が望ましいと考える。</p> <p>国債決済期間短縮化に併せて、新現先へ一本化することは望ましいことから、新現先への移行でコスト以外の課題等を整理し問題点を解消していただいたうえで、ノックアウト事項がなければ、新現先への移行を進めていただきたい。</p>	<p>日本市場の国際化を推進し、二重取引形態を解消することで、効率化を進めていただきたい。</p>